

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 02 健康づくりの推進

主管課 保健センター

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化の進展 ・ 生活習慣病などの増加による疾病構造の変化 ・ 健康への関心の高まりと、様々な健康情報の氾濫 ・ 特定健診、後期高齢者医療制度などの医療制度改革に伴う健診体制の変更 ・ 国における予防接種制度やがん及び肝炎対策等の疾病予防に関する制度改正の進展 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活を可能とする生活機能の維持向上による健康寿命の延伸 ・ 生活習慣病の予防と生活改善の推進 ・ 生涯を通じた健康づくり施策の充実と普及 ・ 子育て環境の整備のための母子保健事業の推進 ・ 国の疾病予防対策制度に対応した迅速な取組 ・ 地域医療に関わる病診連携と休日及び夜間の救急医療の確保

施策の目的

医療体制を充実するとともに、心身の健康づくりを進めることによって市民一人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできることを目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民1人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできるよう、疾病や障がい減らす(地域医療含む)。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
健康だと思う市民割合	%	82.5	76.5	-	77.4	↗
生活習慣病死亡率(人口10万人あたり)	人	429.3	506.0			400.0

施策の達成状況 (23年度)

総合的な健診受診率は、市の継続的な啓発活動に加え国の公衆衛生政策と連動した市の取組の効果もあり回復傾向にある。地域巡回健康教室の継続のほか、関係機関による市民が気軽にできる運動習慣定着のための取組も目立ってきており、健康意識の高まりが見られる。また、市民主体の健康づくり活動を推進する「地域健康づくり推進員」が関わる事業が一層充実してきた。国において予防接種、がん及び肝炎対策等の制度改正が進められており、今後も、国の疾病予防対策に連動した取組を進めるとともに、医療・保健サービスに関する効果的な情報提供方法の工夫を続けることで、成果を向上させるよう努めていく。

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	4,101,351	4,270,582	4,366,834
事業費(千円)	3,708,829	3,868,478	3,961,373
人件費(千円)	392,522	402,104	405,461

01 疾病の早期発見、早期治療及び予防の促進

基本事業の目的

健康診査・がん検診を通して、疾病を早期に発見するとともに、生活習慣病予防のために、健診事後指導を強化することにより病気の予防、生活習慣の改善が図られます。

対象 (誰を対象とした指標か)

成人

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

健康診査などにより疾病の早期発見・早期治療を図ると共に、生活習慣病予防の実践と予防知識を習得してもらう。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
健康診査・がん検診の受診率	%	57.6	62.4	-	61.6	↗
健診等で異常を発見された人のうち、指導又は治療を受けた人の割合	%	93.5	84.9	-	81.9	↗
かかりつけの医師をもっている市民の割合	%	52.6	57.5	-	58.0	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

総合的な健診受診率は、平成20年度には特定健診の実施主体が医療保険者へと移管されたことに伴う混乱もあり低下したが、21年度以降は、継続的な市の啓発活動に加え、ピンクリボン運動など全国的な啓発活動の広がりや国策としてのがん検診推進事業等の効果もあり、回復傾向にある。今後も身近な医療機関を通じた受診勧奨や健診制度の周知等に努めていく。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	199,839	320,615	256,393
事業費(千円)	168,002	293,327	230,900
人件費(千円)	31,837	27,288	25,493

02 健康づくり活動の推進

基本事業の目的

「自分の健康は自分で守る」ことを基本として、家庭、学校、職場、地域、医療機関と連携した健康づくり活動を推進します。また、生活習慣病予防などの健康教育・健康相談を充実します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

家庭、学校、職場、地域が主体となった健康づくり活動が推進され、健康増進や疾病予防に関する知識が身につく、個々人にあった健康づくりを実践する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
健康を維持するために実践している項目数	項目	4.59	4.60	-	4.41	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

市内11カ所での地域巡回健康教室の継続、自主サークル活動の定着のほか、関係機関によって運動習慣定着のための取組が数多く行われており、健康意識の高まりが見られる。地域健康づくり推進員の活動では、推進員相互に協力して積極的にその地域の諸課題に対応した活動に取り組んでいるほか、22年度完成させたウォーキングマップを活用した取組など、江別・野幌・大麻の地区ごとにグループ化して講演会や運動教室などの事業が活発化している。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	43,627	41,173	48,393
事業費(千円)	8,566	7,865	12,379
人件費(千円)	35,061	33,308	36,014

03 母子保健の充実

基本事業の目的

妊産婦、乳幼児の健康管理のため各種健康診査を通して、母性保護と子の健やかな成長を図ります。また、両親学級や育児相談により、安心して子どもを産み育てることができる正しい知識が習得できます。

対象 (誰を対象とした指標か)

妊産婦、乳幼児と保護者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

親子が心身共に健康を保持・増進するための知識が得られ、具体的な方法がわかることで、実践できる。また、疾病の予防及び早期発見により健康障がいを防ぐことができる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
乳幼児健診(4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳)平均受診率	%	96.5	96.6	96.8	97.2	97.0
乳幼児の健康診査に満足している人の割合	%	81.7	-	93.1	-	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

乳幼児健診受診率は横ばいであるが高い水準を維持している。少子化が進展するなかで、各種健診や継続的な相談事業など、妊婦や乳幼児の健康保持増進及び保護者の育児力向上のため多くの取組を行い、安心して出産・子育てのできる環境づくりに努めている。地域子育てサロン、乳幼児虐待予防事業等の関係機関と連携した育児不安や困難感への支援を強化してきており、定性的には成果を上げてきている。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	186,225	181,971	194,696
事業費(千円)	147,134	143,045	155,444
人件費(千円)	39,091	38,926	39,252

04 医療体制の充実

基本事業の目的

休日や夜間に安心して適正な医療サービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り救急医療体制の充実に努めるとともに、病診連携の強化などにより地域医療体制を充実し、多様化する医療ニーズに応えます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

適正な医療サービスが受けられ安心できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
休日当番対応医療機関数(内科小児科)	件	28	29	29	32	30
救急対応医療機関数(外科系)	件	6	6	6	6	6
人口10万人あたりの医師数	10万対、人	109.5				125.0

基本事業の達成状況 (23年度)

夜間急病センターの安定的な運営を図り、一次救急医療体制を確保している。市民の地域医療を確保については、病診・病病連携や、休日・夜間の当番医制の維持充実、救急医療として特に夜間の一次・二次救急体制の充実など、江別医師会をはじめ関係機関等との協力・連携強化に努めている。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	3,644,182	3,701,182	3,840,363
事業費(千円)	3,365,306	3,404,220	3,540,922
人件費(千円)	278,876	296,962	299,441